

教科： 商業

科目： 総合演習（会計）

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年（選択科目）

教科担当者：

使用教科書：（ TAC出版 合格テキスト・トレーニング日商簿記2級、完全予想問題集 等 ）

教科 商業

の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合演習（会計）

の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じ、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見出し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用により主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
会計の基礎の復習 【知識及び技能】企業会計原則、会社法の概要について復習。 【思考力、判断力、表現力等】財務会計及び関連する法規を理解した上で処理ができる意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだせるようにする確認。 【学びに向かう力、人間性等】現在の財務会計の概要や財務会計及び関連する法規の概要について自ら調べ、適切な会計情報の提供と効果的な活用により主体的かつ協働的に取り組ませる。	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業会計と会計公準 第2章 企業会計制度	【知識及び技能】財務会計や企業会計制度の概要について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】財務会計の意義や財務会計及び関連する法規と基準の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 【学びに向かう力、人間性等】財務会計の概要や財務会計及び関連する法規の概要について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用により主体的かつ協働的に取り組もうとしているかの確認。	○	○	○	6
貸借対照表 【知識及び技能】貸借対照表、資産の分類と評価、負債の分類について理論と実務とを関連付けた理解を復習させるとともに、関連する技術を再確認。 【思考力、判断力、表現力等】貸借対照表に関する基準、資産の分類と評価に関する法規と基準、負債に関する基準、及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見出し、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力をさらに身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】貸借対照表、資産の分類と評価、負債について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用により主体的かつ協働的に取り組ませる。	第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表の概要 第4章 資産の分類と評価 第5章 負債の分類	【知識及び技能】貸借対照表、資産の分類と評価、負債の分類について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けているかの確認をする。 【思考力、判断力、表現力等】貸借対照表に関する基準、資産の分類と評価に関する法規と基準、負債に関する基準、及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見出し、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を身に付けているかの確認をする。 【学びに向かう力、人間性等】貸借対照表、資産の分類と評価、負債について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用により主体的かつ協働的に取り組もうとしているかの確認。	○	○	○	7
貸借対照表 【知識及び技能】現金預金、金銭債権、電子記録債権・債務の会計処理について理論と実務を関連付けて理解させるとともに関連する技術を再確認する。 【思考力、判断力、表現力等】現金預金、金銭債権、電子記録債権・債務の会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を再確認する。 【学びに向かう力、人間性等】現金預金、金銭債権、電子記録債権・債務の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用により主体的かつ協働的に取り組ませる。	第6章 現金預金 第7章 金銭債権 第8章 電子記録債権・債務	【知識及び技能】現金預金、金銭債権、電子記録債権・債務の会計処理について理論と実務を関連付けて理解するとともに関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】現金預金、金銭債権、電子記録債権・債務の会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見出し、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】現金預金、金銭債権、電子記録債権・債務の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用により主体的かつ協働的に取り組もうとしているか確認。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1

	<p>貸借対照表 【知識及び技能】棚卸資産、有価証券、有形固定資産、リース取引の会計処理について理論と実務を関連付けて理解させるとともに関連する技術を再確認する。 【思考力、判断力、表現力等】棚卸資産、有価証券、有形固定資産、リース取引の会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を復習する。 【学びに向かう力、人間性等】棚卸資産、有価証券、有形固定資産、リース取引の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組ませる。</p>	<p>第9章 棚卸資産 第10章 有価証券 第11章 有形固定資産 第12章 リース取引</p>	<p>【知識及び技能】棚卸資産、有価証券、有形固定資産、リース取引の会計処理について理論と実務を関連付けて理解させるとともに関連する技術を身に付けているかの確認。 【思考力、判断力、表現力等】棚卸資産、有価証券、有形固定資産、リース取引の会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を身に付けているかの確認。 【学びに向かう力、人間性等】棚卸資産、有価証券、有形固定資産、リース取引の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか確認。</p>	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	<p>貸借対照表 【知識及び技能】無形固定資産、研究開発費、引当金、純資産、自己株式、新株予約権の会計処理について理論と実務を関連付けて理解させるとともに関連する技術を再確認する。 【思考力、判断力、表現力等】無形固定資産、研究開発費、引当金、純資産、自己株式、新株予約権の会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力をさらに身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】無形固定資産、研究開発費、引当金、純資産、自己株式、新株予約権の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組ませる。</p>	<p>第13章 無形固定資産 第14章 研究開発費とソフトウェア 第15章 引当金 第16章 純資産(その1) 第17章 純資産(その2) 第18章 純資産(その3)</p>	<p>【知識及び技能】無形固定資産、研究開発費、引当金、純資産、自己株式、新株予約権の会計処理について理論と実務を関連付けて理解させるとともに関連する技術を身に付けているかの確認。 【思考力、判断力、表現力等】無形固定資産、研究開発費、引当金、純資産、自己株式、新株予約権の会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力の確認。 【学びに向かう力、人間性等】無形固定資産、研究開発費、引当金、純資産、自己株式、新株予約権の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか確認。</p>	○	○	○	29
	定期考査						1
	<p>貸借対照表 【知識及び技能】貸借対照表の作成について理論と実務を関連付けて理解させるとともに、関連する技術を再確認する。 【思考力、判断力、表現力等】貸借対照表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を復習する。 【学びに向かう力、人間性等】貸借対照表の作成について自ら学び、適正な財務諸表による適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組ませる。</p>	<p>第19章 貸借対照表の作成方法</p>	<p>【知識及び技能】貸借対照表の作成について理論と実務を関連付けて理解させるとともに、関連する技術を身に付けているかの確認。 【思考力、判断力、表現力等】貸借対照表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を身に付けているかを復習。 【学びに向かう力、人間性等】貸借対照表の作成について自ら学び、適正な財務諸表による適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか確認。</p>	○	○	○	10
2 学期	<p>損益計算書 【知識及び技能】損益計算書の作成および期間損益計算について理論と実務を関連付けて理解させるとともに、関連する技術を再確認する。 【思考力、判断力、表現力等】損益計算書の作成および期間損益計算に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を復習する。 【学びに向かう力、人間性等】損益計算書の作成および期間損益計算について自ら学び、適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組ませる。</p>	<p>第3編 損益計算書 第20章 損益計算書の概要 第21章 損益計算書の基準</p>	<p>【知識及び技能】損益計算書の作成および期間損益計算について理論と実務を関連付けて理解させるとともに、関連する技術を身に付けているかの確認。 【思考力、判断力、表現力等】損益計算書の作成および期間損益計算に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力をさらに向上させる。 【学びに向かう力、人間性等】損益計算書の作成および期間損益計算について自ら学び、適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか確認。</p>	○	○	○	7
	<p>損益計算書 【知識及び技能】役務の提供と工事契約、掛代金の割引き、外貨建取引の会計処理について理論と実務を関連付けて理解させるとともに、関連する技術を再確認。 【思考力、判断力、表現力等】役務の提供と工事契約、掛代金の割引き、外貨建取引に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力をさらに向上。 【学びに向かう力、人間性等】役務の提供と工事契約、掛代金の割引き、外貨建取引の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組ませる。</p>	<p>第22章 役務の提供と工事契約 第23章 掛代金の割引 第24章 外貨建取引</p>	<p>【知識及び技能】役務の提供と工事契約、掛代金の割引き、外貨建取引の会計処理について理論と実務を関連付けて理解させるとともに、関連する技術を身に付けているかの確認。 【思考力、判断力、表現力等】役務の提供と工事契約、掛代金の割引き、外貨建取引に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力をさらに向上。 【学びに向かう力、人間性等】役務の提供と工事契約、掛代金の割引き、外貨建取引の会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしているかの確認。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

